製品名: NDUB2 ウサギポリクローナル抗体
カタログ番号: APRab14488
研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20℃で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	11kDa

抗原情報

遺伝子名	NDUFB2
別名	
遺伝子 ID	4708.0
SwissProt ID	O95178
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲：40-120

背景

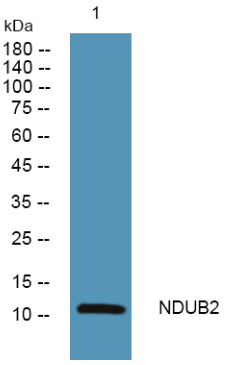
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、多サブユニット NADH:ユビキノン酸化還元酵素（複合体 I）のサブユニットである。哺乳類の複合体 I は 45 の異なるサブユニットから構成される。このタンパク質は、NADH 脱水素酵素活性および酸化還元酵素活

性を有する。NADH から呼吸鎖への電子伝達において重要な役割を果たしている。この酵素の直接の電子受容体はユビキノンであると考えられている。ハイドロパシー解析により、このサブユニットと他の 4 つのサブユニットは、複合体 I の疎水性タンパク質（HP）画分内に存在するにもかかわらず、全体的に親水性パターンを示すことが明らかになった。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能：ミトコンドリア膜呼吸鎖 NADH 脱水素酵素（複合体 I）の補助サブユニットであり、触媒作用には関与しないと考えられている。複合体 I は、NADH から呼吸鎖への電子伝達に機能する。この酵素の直接の電子受容体はユビキノンであると考えられています。,類似性:複合体 I NDUFB2 サブユニット ファミリーに属します。,サブユニット:複合体 I は 45 の異なるサブユニットで構成されています。,

研究分野

酸化的リン酸化、アルツハイマー病、パーキンソン病、ハンチントン病、

画像データ



K562 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、NDUB2 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩